巻頭言

二十号を目指して

九号の原稿も大体集まりつつあると、中西編集長から一報がありました。「とびら」を書くようにとの仰せにしたがい目下書いているところです。時は、七月五日午後。昨日衆議院選挙公示四三三人立候補とのことです。投開票は二二日。恐らく自公連合の圧勝でしょう。思えば前に「とびら」を書いた折も選挙がありました。何の選挙だったか調べれば分かりますが面倒です。選挙には行っていますが投票率がかんばしくないのは毎回です。大体結果がほぼ分かっているので半ば白けているのでしょう。

さて、十号も続けばうれしいと思っていましたが、すでに九号です。今は亡き貞子お手製の「セイ談」一号を想うと感無量ですが、人間は欲張りです。こうなると二十号を目指したくなります。新しい書き手が自ら現れるでしょう。

皆様との再会を楽しみにしています。

渋潮（重朝）記